

## 新年明けまして

### おめでとうございます

市民の皆様方は、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

また、日頃より市政の発展にご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年を振り返りますと、様々なことがありましたが、特に「市民力」を強く感じた一年でありました。各種イベントの企画運営や、ボランティアとして多くの方々にご支援、ご協力いただき、「元氣な矢板」を市民の皆様にも感じていただけたのではないかと考えております。

矢板市は、「子育て環境日本一」を目指すまちづくりを進めておりますが、本年も引き続きこの施策を柱に様々な取組みを進めてまいります。そのために、教育・福祉・医療をはじめ、生活の利便性や働く場所の確保などに取り組



み、矢板で子育てを、矢板に来て子育てをするまちを目指します。

本年は、結婚・子育て世代への支援の一つとして、結婚・妊娠・出産・子育てを応援するポータルサイトが新たにスタートします。子育てなどにおける環境が充実し、十分活用されることを期待しています。

社会基盤の整備としては、木幡土地区画整理事業が本換地を迎える年となり、良好な住環境が新たに整います。

また、片岡地区の市街地整備事業として進めてきましたJＲ東北本線の片岡駅舎と東西自由連絡通路が完成し、片岡駅周辺地域の開発が期待されます。

国においては、「地方創生」の大きな一歩を踏み出そうとしています。人口減少・超高齢社会を迎え、地方に求められるのは、地域の特性を踏まえたビジョンを明確にすることだと思われまます。この大きな流れに乗り遅れぬよう、矢板市版の人口減少問題対策も進めてまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭にあたってのご挨拶といたします。

矢板市長 遠藤 忠

## 謹んで新年のご挨拶を

### 申し上げます

皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

旧年中は、市政並びに市議会の活動に対しまして、皆様の温かいご理解と力強いご支援により、円滑な議会運営ができましたこと、心から感謝し、改めて厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の我が国の経済はおおむね底堅く推移したものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減からの回復が十分ではないなど、足下における景気回復の実感には乏しい年となりました。

特に地方においては、いまだ好況感からは遠く、地域格差が拡大しており、本年も厳しい状況が続くことが懸念されます。

矢板市においても、少子高齢化、人口減少、税収の減収等による財政のひっ迫など、様々な難題を抱えております。そうした中、社会資本の整備、教育や福祉の更なる充実など、きめ細やかな行政サービスが求められるとともに、活力ある矢板市の実現が喫緊の課題となつております。

こうした状況下、地方議会の役割は、ますます重要になっており



ます。本市議会はこれまで、市議会としての責務を着実に果たすべく、県内14市中最も少ない16名の議員数で、執行部への政策提言、本会議における議員賛否の公開、一般質問の一问一答制導入、常任委員会等傍聴の原則自由化などの諸改革を推進してまいりました。現在、こうした市議会の在り方の基本的事項を定めるとともに、今後の継続的な議会改革の礎となる矢板市議会基本条例の制定に向けた取り組みを進めているところであります。

今後とも市議会は、皆様の目線に立って、より身近な、開かれた議会運営を心がけていきたいと存じます。

結びに、皆様にとりまして、本年が幸せで実り多い、大いなる飛躍の年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

矢板市議会議長 大島 文男